

文化経済部会における審議状況と今後の課題

1. これまでの審議状況

○ これまでの状況

文化と経済の好循環について議論する場として、令和3年12月に創設。下部組織として、アート振興、基盤・制度、グローバル展開の3つのワーキンググループを設置。各ワーキンググループで議論された成果や部会で議論された内容を基に、報告書「文化と経済の好循環を実現する文化芸術活動の「創造的循環」(仮)」として取りまとめる(予定)。

○ 文化と経済の好循環に向けて

部会では、文化芸術を一つの生態系(エコシステム)にとらえ、その持続的な発展のためには、文化芸術活動の基盤となる「土壌」を整え、地域にある文化資源の掘り起こしやそれを国内外に展開するための「価値づけ」の必要性について議論。文化芸術のエコシステムの構築には、文化をあらゆる社会的活動の中核に位置付けることや、文化芸術領域の構造、受け手や担い手の把握等が必要であることが議論された。

○ アート振興ワーキンググループ

令和2年度に文化政策部会に設置された「アート市場活性化ワーキンググループ」の報告書で示されたアートを持続的に発展させるための3つの価値、美術的・学術的価値、経済的価値、社会的価値をバランスよく向上させる方策の検討。具体的には、美術館／公的なアート支援機関の役割、ナショナルコレクションの形成、美

術的・学術的価値を形成する批評の充実、アート・アーカイブ整備の重要性、アート振興を担う人材の育成／鑑賞教育の重要性等について議論した。

○ 基盤・制度ワーキンググループ

我が国の文化芸術を向上させる基盤的な制度や仕組みについて検討。具体的には、文化芸術領域への寄附の促進について企業版ふるさと納税制度やクラウドファンディング等の活用策、美術品の公的な鑑定評価制度の検討、NFT、メタバース等新たなテクノロジーへの対応等について議論した。

○ グローバル展開ワーキンググループ

我が国文化芸術のグローバル展開に向けた基本的考え方及び方策について検討。具体的には、①我が国が世界に開かれた文化芸術の拠点となるため、グローバル人材の育成及び環境整備に取り組むこと、②文化が社会の基盤であるという理解の下、文化を核においた政策を推進すること、③文化芸術の発信にあたっては、各領域における国際市場の構造やニーズを踏まえた戦略的な展開を行うこと等について議論した。

2. 今後の課題

○ 政策の形成・施策の実行について

令和4年度は、これまでの議論をもとに、具体的な政策・施策を企画・実施しつつ、継続的に部会において進捗を確認・議論していく予定。